

1~3年	意見文を書いて、新聞に投稿しよう
国語	

年 組 番 名前

☆社会の様子や身近な出来事、学校生活などから、感じたこと、提案したいことなどを意見文としてまとめ、新聞に投稿しよう。

①右の投稿文を読み、意見文の書き方として気が付いたこと(まねしたいところなど)を挙げよう。

②テーマを決めよう。

③テーマにそって書いた意見文を新聞に投稿してみよう。

コピーを生徒に渡す際、下記の指導アドバイスの部分は消してからコピーしてください。

*指導する先生や保護者の皆様へ(島田市立川根中学校・矢澤和宏)

意見文の書き方については、新聞のコラムや四コマ漫画も参考になります。また、テーマについては、学校生活の中から見つけることも可能ですし、新聞記事の中から関心のあるテーマを設定するのもよいと思います。

女性SL車掌奮闘中



大鉄新金谷駅で業務をこなす萩原さん

大井川鉄道・萩原さん

大井川鉄道(島田市)の萩原愛さん(24)は藤枝市に全国的にも珍しい蒸気機関車(SL)の女性車掌を務めている。高校時代に電車通学して以来、電車やSLの魅力にとりつかれたという萩原さん。「将来はSLの運転士になりたい」と意気込んでいる。

神奈川県小田原市出身の萩原さんは、高校の通学で小田急江ノ島線を利用。ずっと続く線路を走る光景を見ながら、運転してみたいと思うようになった。卒業後は東京の鉄道関係の専門学校に進んだ。就職先はSLの運転本数が多く大鉄を希望。訪れた際に駅員が子どもに帽子をかぶせてあげている姿を見て、「こういう接客をしたい」と

「将来は運転士」の夢胸に

感じた。ただ、女性の運転士志望はほとんど例がなく、2度にわたって熱意を伝えて受験できるようなったという。

大鉄では駅員や営業などを経て、車掌になったのは1年ほど前。現在は乗務確認や出発合図をしてSLに乗り込み、検札、案内放送などをこなしている。運転士になるには実地や学科、適性試験の合格が必要で、経験を積んで初めてSLの助手になる。萩原さんは「ずっとやりたかった仕事に関わり、毎日が楽しい。いい思い出をつくってもらうため、お客さまとの触れ合いを大切にしていきたい」と夢に向かって業務に励んでいる。



焼津市
(中学生 14歳)

「女性SL車掌が奮闘中」という記事を新聞で見つけました。私はこの記事にとても勇気づけられました。

この女性SL車掌萩原さんがこの仕事につくまでにはけわしい

道のりでした。女性のSL車掌志望者はほとんど例がなく、2度にわたって熱意を伝え、受験できるようになって、みごと合格したそうです。萩原さんは「ずっとやりたかった仕事に関わり、毎日が楽しい。お客さまとの触れ合いを大切にしていきたい」と仕事に励んでいます。

合格率の低い中、懸命にがんばりあきらめず取りこんできた萩原さんのように、私も夢をか

なえるためこれからがんばっていきたいです。

私の夢は、幼稚園の先生になることです。私は小さい子が好きで、昨年5月に職場体験で幼稚園に行った時、子供たちと遊ぶ楽しさややりがいを知り、「将来やってみたいな」と思っています。簡単になれる仕事ではないので、今から少しずつ理解して学んで、夢をかなえられたいなと思います。

もし、くじけそうになったら、その時はこの記事を思い出して、走り続けていきたいです。